

伸びる子

やさしく (愛いっぱい)
かしこく (夢いっぱい)
たくましく (元氣いっぱい)

令和6年
1月9日
五島市立奥浦小学校
文責 橋詰絵
第16号



あけまして おめでとう



辰年とは…

- ・ 昨年まで努力してきたことが実を結んで成就する年
- ・ さらなる努力をすることで、成功にスピード感を持って近づける年

令和6年の幕開けに寄せて

衝撃的な出来事で始まった令和六年。普通というのが、いかに尊い日常であるか思い知らされた新しい年の始まりとなりました。震災や事故で亡くなられた方々のご冥福を祈ると共に、被災された方々、そして事故に遭われた方々が一日も早く普通を取り戻されることを祈りたいと思います。

奥浦小学校では、本日無事に始業式を迎えることができました。始業式の中で子どもたちに大きく次の二つのことを伝えました。

- ・ 普通の日々を過ごせることが、いかに幸せなことか。
- ・ いつ何が起こるか分からないからこそ、一生懸命生きなければならぬこと。

二つ目の話については、次のことを付け加えて話しました。

- ・ 勉強やあいさつ、掃除など今までやってきた当たり前のことを当たり前に生懸命することが、一生懸命生きることにつながる
- ・ 自分や周りの人々を大切にすることが一生懸命生きることにつながる

お御籤 (おみくじ)

生まれて初めて正月に大瀬崎の灯台に行ってきました。朝は曇っていたものの、次第に日が差すようになり、着いた頃には太陽の日差しを受け、温かいを通り越して暑い中、ふるさとの大自然を満喫しました。

帰りに大宝寺によって初詣。お神籤を引いたところ、「大吉」でした。氣の持ちようでしょうが、このお神籤がきっかけとなり、今年1年も幸せに過ごせそうです。

一年生から五年生は修了式まで残り五十一日、六年生は卒業式まで残り四十七日です。たったこれだけの期間しかありませんが、先述した通り、当たり前のことを当たり前に、普通の日々を過ごしながら、次の学年の準備ができるよう、奥浦小学校の全職員で子どもたちの指導に当たっていきます。



昇り竜のように、目標に向かってまっしぐらに突き進む、元氣な子どもたちを育てます。

今年も元氣に
まっしぐらに進めよう